

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 高分子フォルダマーを基盤とした DDS ナノファクトリーの創製
2. 研究代表者： 西村 智貴（信州大学 繊維学部 助教）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題では、構造が一義的に決まった高分子集合体に触媒や酵素などの分子変換システムを組み込んだナノデバイスを作製する。このナノデバイスを疾患部位でくすりを産生する医用反応場へと応用することで、高い治療効果、低い副作用を可能にする新しい医療技術の構築を目指している。

フェーズ1では、高分子フォルダマーによる分子集合体の自在設計法の構築と免疫細胞からの捕捉を抑制する構造情報を得ることを目的としており、一定の成果が得られている。

フェーズ2では、フェーズ1で得られた知見を活用して、高分子フォルダマーを基盤とした医用反応場の構築とその治療効果の実証を計画している。ナノファクトリーのコンセプトを生かした展開を目指す計画が盛り込まれていると良いと思われる。

以上